

● 町民の広場

夢

「夢の実現に向けて」



大崎第一中学校3年
村 永 静 佳

四月から中学三年生となり、私の家庭でも高校入試や将来についての話を、口にする機会が多くなった。今までは軽く考えていたことを、家族みんなで真剣に話してみると、現実味を増して今の自分に重くのしかかってくる。今のままの自分で、本当にやっていけるのだろうか、入試という避けては通れない壁が立ちほだかり、不安がおおっている毎日。

そんな時、ママさん宇宙飛行士の山崎直子さんがスペースシャトルで宇宙へ飛び出す、というニュースが流れた。それまで、山崎さんの存在を全く知らなかった私だったが、テレビニュースや新聞でさまざまな角度から山崎さんのことを伝える報道に接し、とても興味を持った。

日本人宇宙飛行士としては二人目、ママさん宇宙飛行士としては日本人初の彼女は「宇宙戦艦ヤマト」等のアニメや、落下傘投下をしていた父親の影響を受け宇宙を志したという。幼いころ志した「宇宙」は、やがて「宇宙飛行士」という大きな夢となった。そして、今年の四月五日、宇宙へ出発し、長い間見てきた夢は実現したのだ。しかし、「宇宙飛行士」への夢の実現は、決して簡単なものではなく、さまざまな困難や苦労があった。一九九九年に宇宙飛行士候補者に選ばれてからも、約十一年もの間に結婚、出産・育児といった人生の大事な節目を迎えた。

しかし、その都度葛藤や困難を乗り越え、夢をあきらめずに求め続けた結果、実現した宇宙であった。この山崎さんの話は私の心に大きな影響を与えた。

私には、幼い頃から保育士になりたい、という大きな夢がある。人は、誰もが夢を持ち、その夢の実現に向けて時には自分を信じ、時には自分にむちをうって努力する。「努力は人をうらぎらない」という言葉があるように、努力した分だけ結果として必ず自分に返ってくると私は思う。

「夢の実現」それは、一生涯を通して追い続けるものであり、求め続けるものである。そして、だからこそ味わうことのできる達成感や満足感がある。

私はこれから先、この山崎直子さんをお手本にして、時には自分を信じ時には自分にむちをうって、保育士という大きな夢を追い続けると共に、夢の実現に向けて精一杯努力していきたいと思う。そして、夢の実現を目指して、これからの人生を明るく喜びあふれるものにしていきたい。



編集後記

5月〜7月は、不安な時期だったような気がします。

梅雨に入ると、雷を伴い1時間50mm〜100mmという猛烈な雨が降り、各地に大きな被害をもたらしました。

参議院選挙においては、民主党が惨敗を喫しました。消費税を含めいろんな要素があったのでしょうか。しかし、私達の町が一番恐怖と不安を持ったのは、何といっても4月に宮崎県で発生した口蹄疫であり、非常事態宣言まで出ました。畜産農家の方々はもとより、町民にもいろんな所に多大な影響を及ぼしております。ようやく終息の兆しが見え、子牛セリ市も始まりました。安定した子牛価格が望まれるところです。

議会も口蹄疫侵入防止の為、消毒作業に全議員が取り組みました。

6月議会広報誌を送ります。

(広報編集委員 岩田 秀一)

発行責任者

大崎町議会議長

阿野 二郎